

「モンシロチョウ」は、3年生の教科書にも載っていて、昆虫の変態の観察学習には、非常に重要な学習材の一つです。モンシロチョウは漢字では「紋白蝶」ですが、この名称に問題があります。発音も「モンシロ・チョウ」が一般的で、これだと「紋の白い蝶」または「白い紋のある蝶」という意味です。実はモンシロチョウの本来の名称は「クロモンシロチョウ」で、漢字では「黒紋白蝶」と書きました。「黒い紋のある白蝶」という意味で、これはモンシロチョウの翅の特徴を正しく表現しています。「黒」を省略した理由は不明ですが、本来「モンシロチョウ」と発音するのが正しいのです。

私が小学生の時、子ども部屋に「台湾産蝴蝶」という、チョウの実物標本が掲示してありました。たぶん五十種類ぐらいのチョウの実物標本が、ビニール製のポスターのようなものに封入されていました。そこに「台湾モンシロチョウ」というのがあり、「ああ、台湾にもモンシロチョウがいるんだな～」と思っていました。もちろんとくに廃棄されています。しかし約50年ぶりに、北区の小学校の理科室でその実物に再会しました。

すぐに「台湾モンシロチョウ」を探し、見つけることができました。標本には「和名」「学名」のほかに「台湾名」も書かれています、興味深かったのは「台湾モンシロチョウ」の台湾名です。「台湾黒紋白粉蝶」と書かれています。「黒」の字が省略されておらず、本来の正しい名称なのです。「白蝶」ではなく「白粉蝶」となっているのも面白いと思いました。標本そのものはすっかり色あせているのですが、これは大発見でした。

